

Y A K A N H I K O U

To Heart

SAKURA 5

Tomoko Hoshina

W A R N I N G O V E R 1 8 A G E



ちよっどー！

何すんのよっ！

ハッ

助けて

…コロ

ココで何してるか
知ってるんだらう？

やめな

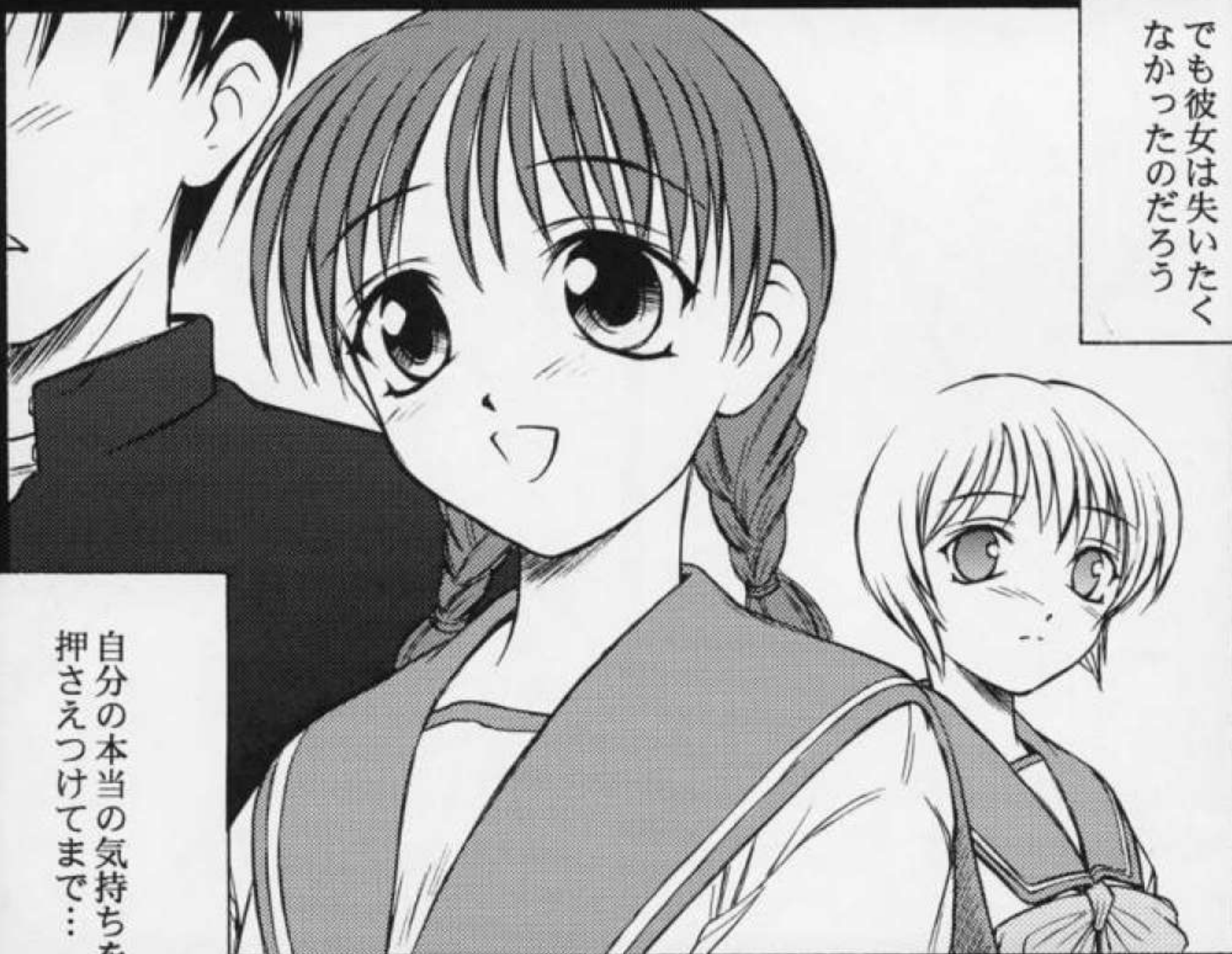
彼女にも
「自分の居場所」が
あったんや

心を許せる友達に
囲まれて——



そしていつしか
藤田君のコトを……

でも彼女は失いたく
なかったのだろう

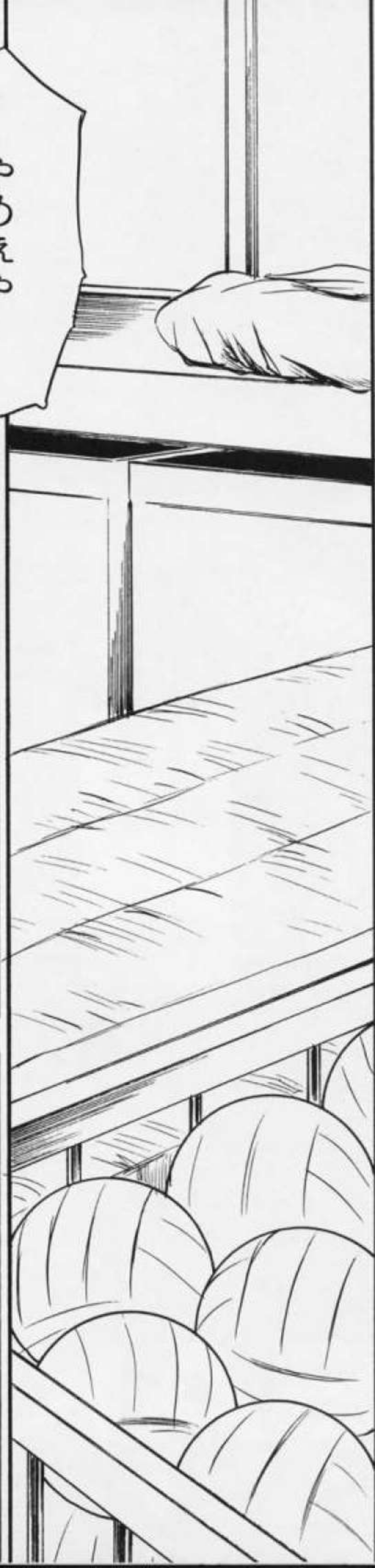


自分の本当の気持ちを
押さえつけてまで……

守ろうとしてきた
居場所を彼女は
失ってしまった

彼女は…
ウチと同じや…

SAKURA 5



どういう意味
だよ？

…もう
これ以上

彼を
騙し続けたないだけや

ふーん…
ナルホドね

今までしてきたコトが
カレシにバレても
いいわけだ

そうや

せやから…
そのコには…

オーケー
オーケー

それじゃ最後にオレ達を
満足させてくれたら
この女には何もしねえよ

どうする？

わかった
約束やで

ちよつと保科さん
なんで

勘違いしなや

別にアンタを
助けようなんか
思てへん

そりやそうだ
噂を言いふらしてる
張本人だもんなあ

ホラ

カクカ
カクカ

いつもの
飲んできてくれよ

そのまま
逃げんないでくれよ

アンタが戻って
こなかったら

そんなんっ

言わんでも
わかっとるわ

カクカ

ガラガラガラ
ガ
ミ
カ
ニ

...

保科さんに
何を渡したのよ

なあに あんたも
すぐにわかるって

そのまんまの
意味だよ

どーゆー
意味よ

さっさと...

あんたには悪いが

水なしで飲んで
もらおうか



彼女を
——
これ以上巻き込むわけには
いかへん……

自分の気持ちを
おさえつけてまで
守ろうとしてきた物を



ウチが奪って
しもうたんやから

居場所を無くした
気持ちは痛いほど
良くわかる……それに

彼女に何かあったら
藤田くんが

藤田……くん……





おっ
ちやんと戻って
きたな

ガッ
ガッ



しばらく大人しく
してもらっただけだよ

これから楽しもうって
のに騒がれると
萎えるだろ？

あんまり騒ぐモン
だからさ

あんたら
何してんねん！



さあ
オレ達を満足
させてくれるん
だろ？

どんなコトすれば
いいのかわかってるよな？

...

なかなかな
良かったぜ

次はどうやって
楽しませて
くれるんだあ？



先に犯して
いいぜ

オレは向こうの
相手してるからな

ああ



ウチの
ココを

犯して下さい



そんなに
オレが
たっぷりと

犯して
やるよ



なんだよ
さっきから
下向いたまんまで



『才女の意外な姿を
目撃!』ってトコロか?

アンタのお好きな
大スクープって
ヤツだぜ?



ちゃんと
見てやれよ



そして自分から
欲しがる淫乱女



自分のをイジリながら
男のモノをくわえ込む



それなら

あんた自身で
ネタ作りでも
しようか？



なんだよ
見ようともしないで

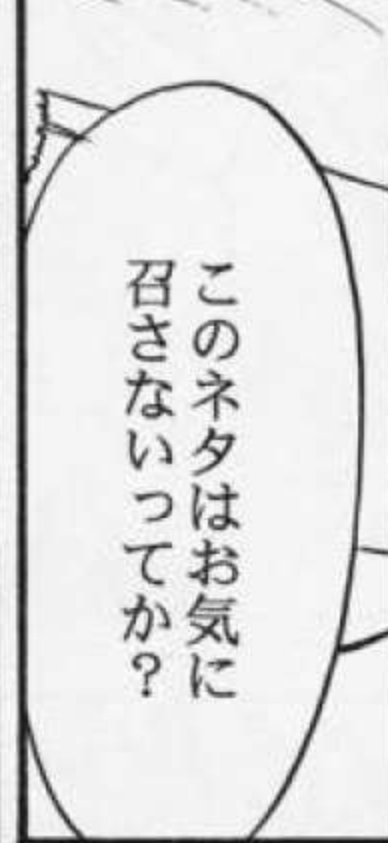


あつという間だなあ
そんなにイキたかった
のかあ？

自分が満足してちや
イミねえだろお



『私は他人のエッチを
見てただけで
こんなになっ』ってな



このネタはお気に
召さないってか？



そーそーそれに
こんなんじや
ネタとして弱いよな



ひとの心配より
アタはコレだろ？



オレはまだ
イッてないんだぜ



彼女には
何もせえへんって



そっ…そんな

止めなきゃ…
でも…もう

満足させて
くれたら…
だろ？

約束が
ちがつ…

約束？

もうそんな
考えてる余裕が

これで最後だなんて
満足できるわけ
ないだろ？それに



こんなになってる
女性を放って
おこなんてのは

男として
失格だしな

でかいク○トリス
だなあ…意外と
色も綺麗だし



あっ！

アンタもしかして
処女だろ？

本当はこんなに
大きくなるまで

なんだよ男と
遊んでるようなコト
言ってる

自分の指で
遊んであげて
たんだな

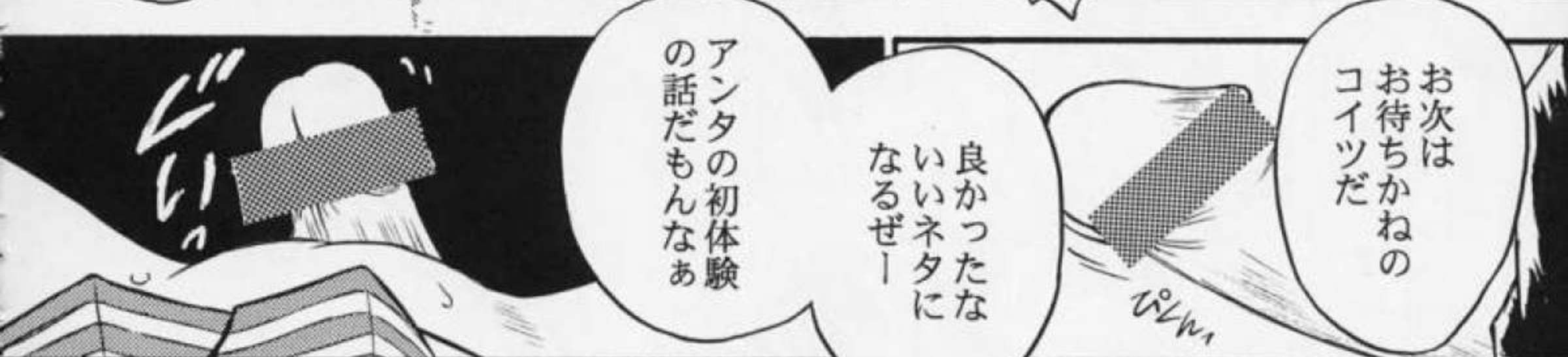
指はもう飽きたろ？
俺の口でしてやるよ

！



指以外でイクのも
いいもんだろ？

可愛いお口から
こんなにもヨダレを
たらしちやって



あなたの初体験
の話だもんなあ

良かったな
いいネタに
なるぜー

お次は
お待ちかねの
コイツだ



吸い込まれる
ように...

オレのモノが
根元まで...

どんな風に犯されたか
事細かに喋っても
いいんだぜ...

どうだあ初めての
男の味はあ

アంతタの膺もキツくて
ヌルヌルしてて
いい感じだぜ

なんだよその女
そんなにいいのか？

さっさと出して
オレと代わってくれよ

パーカ初モノ
なんだから
ゆっくりと…

ってさらに
キツくなってきた

オレも一緒に
イッてやるから

初めてなのに
イキそうなのか？

あんたも
イッちまいな

あ...

あああああ
あああああ

なんだよ早い
じゃないか

キッ

ひん

コレのしまりが
すごかったからなあ



それじゃー!

コッチも
イカせて
もらおうか



今まで一人で
寂しかっただろ

良かったな
仲間ができて

これからは二人で
楽しませてくれよ



——ウチらは
何度も何度も



犯され続けた

体には陵辱の
記憶がしっかりと
残っている

せやのに何故か
他人事のように

頭の中で
冷めている

彼を

藤田くんの名前を
呼ぶ声が
こだましている

ウチも多分
彼女と同じ気持ち
なんやろう

でも…
もうウチには



彼に助けを
求める資格すらない…

SAKURA 5

- 発行 夜間飛行■
- 発行者 いのうえとみい■
- 発行日 2001年12月29日■
- 印刷 くりえい社■

読んで下さった皆様へ
感謝!
いのうえとみい



T O M O K O H O S H I N A



WARNING
OVER 18 AGE

T O H E A R T

SAKURA 5

P R E S E N T E D B Y

T O M M Y I N O U E & Y A K A N H I K O U